

産業廃棄物処理計画書

平成26年 6月 20日

兵庫県知事 様

提出者

住 所 神戸市兵庫区和田崎町一丁目1番1号

氏 名 三菱重工業株式会社

神戸造船所長 河野 文紀

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 (078) 672-2130

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	三菱重工業株式会社 神戸造船所 二見工場
事業場の所在地	明石市 二見町 南二見 一番地
計画期間	平成26年4月1日～平成27年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	2911 発電機・電動機・その他の回転電気機械製造業
②事業の規模	総生産高2,732億円(本工場を含む)
③従業員数	169人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1参照

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
別紙2参照			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項 別紙3参照			
①現状	【前年度 (H25 年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	1263.9 t	t
	(これまでに実施した取組) <ul style="list-style-type: none"> ・ 廃棄物中の有価物分別による発生量削減 ・ 発泡スチロールの溶融固化による売却化 ・ 鋳型サイズの適正化による鋳物廃砂の削減 		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	1226.0 t	t
	(今後実施する予定の取組) <ul style="list-style-type: none"> ・ 鋳物砂のセラミック化による鋳さい発生量の削減 		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) <ul style="list-style-type: none"> ・ 可燃ごみ中の紙類分別売却化 ・ 鋳さいに含まれる金属類の分別売却化 		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) <ul style="list-style-type: none"> ・ 新規の分別項目はなし (現状の分別レベルを強化する) 		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ H25 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ H25 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

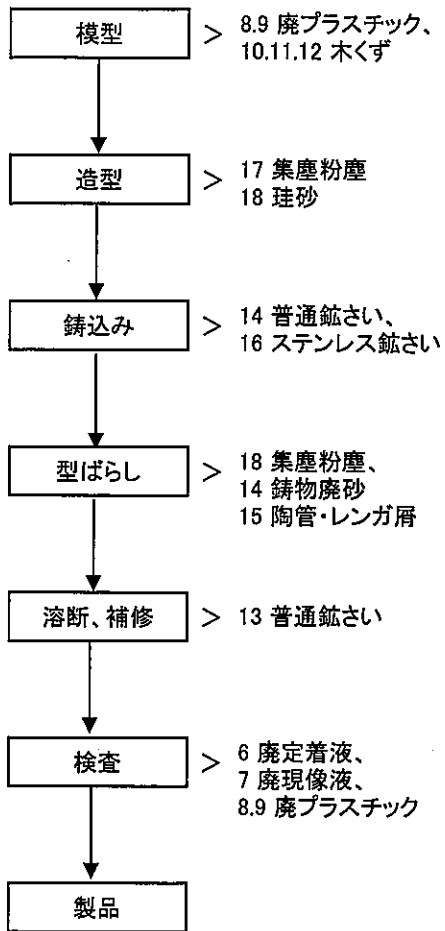
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ H25 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項 別紙3参照			
①現状	【前年度（ H25 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 可能な限り廃棄物のリサイクルを実施し、ゼロエミを達成している。		

②計画	【目標】	別紙3参照	
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 今後も継続してリサイクルを推進していく。		
※事務処理欄			

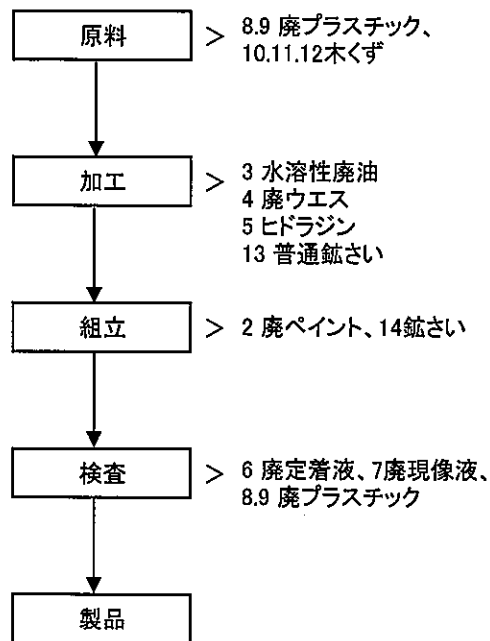
備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

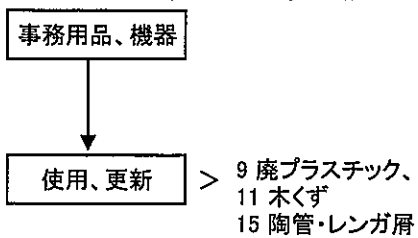
鑄造品



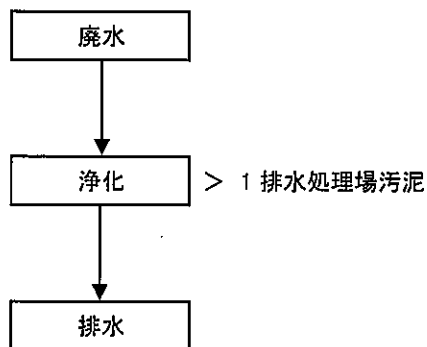
原子カプラント



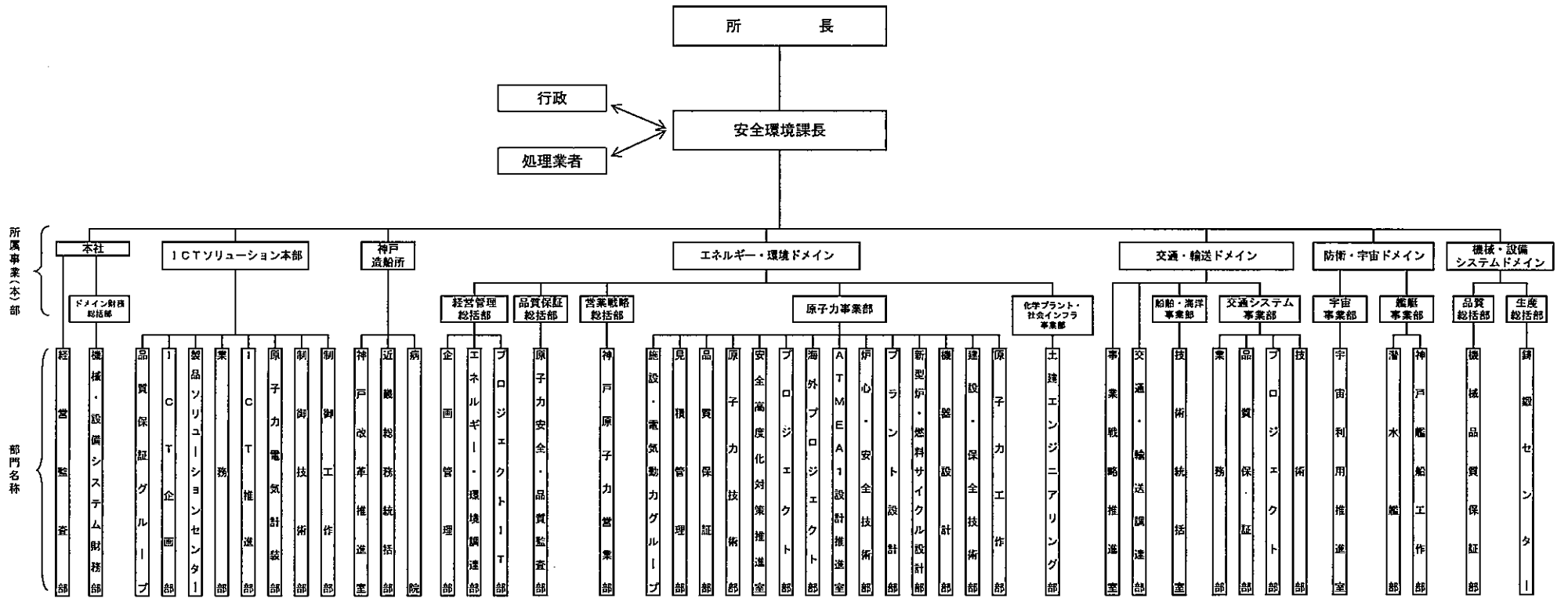
事務所・工場一般



排水処理施設



	大分類	種類	収集運搬	処理先	処理方法	処理後
1	汚泥	排水処理場汚泥	(株)ダイセキ (株)ダイサン 増田産業(株)	ダイセキ関西事業所	脱水 乾燥	セメント原料 (住友大阪セメント赤穂)
2	廃油	廃ペイント	増田産業(株)	新日本開発株式会社	焼却	セメント原料 (住友大阪セメント赤穂)
3	廃油	水溶性廃油	増田産業(株)	新日本開発株式会社	焼却	セメント原料 (住友大阪セメント赤穂)
4	廃油	廃ウエス(油付着)	増田産業(株)	新日本開発株式会社	焼却	セメント原料 (住友大阪セメント赤穂)
5	廃油	ヒドラジン	増田産業(株)	ダイセキ関西事業所	中和	ダイセキ関西事業所
6	廃酸	廃定着液	アサヒブリック(株)	アサヒブリック(株)	中和	株式会社トクヤマ 徳山製造所
7	廃アルカリ	廃現像液	アサヒブリック(株)	アサヒブリック(株)	中和	株式会社トクヤマ 徳山製造所
8	廃プラスチック	廃プラスチック	増田産業(株)	サニックス株式会社	破碎	再資源化
9	廃プラスチック	工場可燃ごみ	増田産業(株)	木村工業株式会社	破碎	再資源化 (西播環境整備株式会社)
10	木くず	木くず	増田産業(株)	神戸エンジニアリング	破碎	神戸エンジニア、御影 売却(木材チップ)
11	木くず	木くず	増田産業(株)	田口建材(株)	破碎	大久保リサイクル 売却(木材チップ)
12	木くず	盤木	増田産業(株)	田口建材(株)	破碎	大久保リサイクル 売却(木材チップ)
13	鋳さい	普通鋳さい	増田産業(株)	広鋳技建(株)	破碎 混合処理	広鋳技建(株)スラグ加工 再資源化
14	鋳さい	鋳物廃砂	増田産業(株)	(株)セーフティアイランド	破碎	(株)セーフティアイランド 再資源化
15	鋳さい	陶管・レンガ屑	サンキュウリマテック(株)	株式会社キョウドウ	破碎	株式会社キョウドウ 再資源化
16	鋳さい	ステンレス鋳さい	サンキュウリマテック(株)	株式会社キョウドウ	破碎	株式会社キョウドウ 再資源化
17	鋳さい	集塵粉塵	増田産業(株)	株式会社疋田建設	破碎	株式会社疋田建設 再資源化
18	鋳さい	珪砂	増田産業(株)	株式会社疋田建設	破碎	株式会社疋田建設 再資源化



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項															
【前年度(H25 年度)実績】															
①現状	産業廃棄物の種類	汚泥		廃油		廃酸		廃アルカリ		廃プラスチック		木くず		鉱さい	
	排出量	186.1	t	9.4	t	0.09	t	0.2	t	17	t	67.6	t	1263.9	t
【目標】															
②計画	産業廃棄物の種類	汚泥		廃油		廃酸		廃アルカリ		廃プラスチック		木くず		鉱さい	
	排出量	176.8	t	8.9	t	0.09	t	0.2	t	16.2	t	64.2	t	1200.7	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項															
【前年度(H25 年度)実績】															
①現状	産業廃棄物の種類	汚泥		廃油		廃酸		廃アルカリ		廃プラスチック		木くず		鉱さい	
	全処理委託量	186.1	t	9.4	t	0.1	t	0.2	t	17.0	t	67.6	t	1263.9	t
	優良認定処理業者への処理委託量	187.8	t	9.4	t	0.1	t	0.2	t	0.0	t	0.0	t	0.0	t
	再生利用者への処理委託量	148.9	t	0.1	t	0.0	t	0.0	t	17.0	t	67.6	t	1196.0	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.0	t	0.0	t	0.0	t	0.0	t	0.0	t	0.0	t	0.0	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0	t	0.0	t	0.0	t	0.0	t	0.0	t	0.0	t	0.0	t

【目標】															
②計画	産業廃棄物の種類	汚泥		廃油		廃酸		廃アルカリ		廃プラスチック		木くず		鉱さい	
	全処理委託量	176.8	t	8.9	t	0.09	t	0.2	t	16.2	t	64.2	t	1200.7	t
	優良認定処理業者への処理委託量	176.8	t	8.9	t	0.09	t	0.2	t	0.0	t	0.0	t	0.0	t
	再生利用者への処理委託量	141.5	t	0.1	t	0.00	t	0.0	t	16.2	t	64.2	t	1136.2	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.0	t	0.0	t	0.00	t	0.0	t	0.0	t	0.0	t	0.0	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0	t	0.0	t	0.00	t	0.0	t	0.0	t	0.0	t	0.0	t